

東京造形大学附属美術館「ヤマザキマリの世界」関連企画

藤井匡「美術概論」 ゲスト：松本隆（彫刻家・沖縄県立芸術大学教授）

# 講演会

## 現代彫刻と古代ギリシア彫刻 ～創作活動と研究について

日時：2022年11月25日（金）

17:00～18:00

東京造形大学4号館4-A教室

無料

事前申込不要

（特別展示《リアーチェの戦士》復元模刻の制作者  
松本隆による解説）

1972年、イタリア南部の町「リアーチェ」の海岸から発見された2体のブロンズ像は、古代ギリシアのものとして想定され、貴重な等身大ブロンズ像であることや、見事な造形などから、当時は今世紀最大級の考古遺物の発見として話題に上がりました。当像は、発見地名から通称《リアーチェの戦士》と呼ばれ、現在イタリアのレッジョ・カラブリア国立考古学博物館に展示されています。今年は発見50周年を迎え、さらに注目を浴びています。

この度、私の古代ギリシアのブロンズ彫刻の技法研究で扱った資料を「ヤマザキマリの世界」に合わせ展示いたしました。講演では、松本の創作活動（現代彫刻）と研究（古代ギリシア彫刻）というテーマで、今回の展示物を参照しながら解説します。



《リアーチェの戦士》  
A像及びB像の復元模刻  
松本隆 制作



**特別展示**  
《リアーチェの戦士》復元模刻  
1972年に南イタリアの海岸から発見された、二体の古代ギリシアのブロンズ像を、彫刻家で古典技法研究家の松本隆（沖縄県立芸術大学教授）が完全な形に復元。イタリアの学会でも高い評価を受けたそれら原像を、古代ギリシアの学会でも高い評価を受けたそれら原像を、古代ギリシアの学会でも多くの作品で扱っている「ヤマザキマリの世界」展にあわせて特別参考展示する。

**特別展示《リアーチェの戦士》復元模刻の制作者松本隆による解説**  
11月25日（金）17:00-18:00  
講師：松本隆（彫刻家）

松本隆  
（沖縄県立芸術大学教授）  
リアーチェのブロンズ  
（戦士像）  
高度複製（制作中の戦士像）

〈交通アクセス〉

町田街道 橋本駅 野町田→  
国道16号  
JR有楽町線  
東京造形大学  
相原駅  
←至八王子

交通アクセス：JR横浜線相原駅よりスクールバス5分・徒歩15分  
当館には専用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

東京造形大学附属美術館 / ZOKEIギャラリー  
〒192-0992 東京都八王子市宇津貫町1556（東京造形大学構内）  
TEL: 042-637-8111 URL: <https://www.zokei.ac.jp/museum/>  
館内の混雑状況により人数制限をさせていただく場合がございます。

当日開催中  
「ヤマザキマリの世界」  
東京造形大学附属美術館  
＊美術館の開館時間は 10：00～16：30  
（入館は 16：00 まで）  
となっています。